

令和4年度 南大沢スマートシティ協議会（第4回） 議事要旨

■日時：令和5年3月8日（水）10時30分～12時00分

■開催方式：オンライン会議

■出席者：委員47名、事務局

□主な意見

<実証の効果検証の状況>

- 電動キックボードのアンケート結果は試乗会参加者が対象であるため、実際の認知度は少し低い可能性があり注意が必要である。

<社会実装に向けた施策（ICT インフラ構築）の検討について>

- 来年度以降は、施策毎に産学公のいずれかの団体が実施主体として責任をもって推進する必要がある。
- 事業に必要な資金は、初期は公的支援で、中長期的には受益者負担で実施する等、収益構造を早めに検討する必要がある。
- 事業資金が不透明であるため、既存インフラを活用する等、スモールスタートで進められるとよい。
- サービス側から ICT インフラ側へ、ICT インフラ側からサービス側へ、互いの要求の並行した検討が重要である。部会間のコミュニケーションの活発化も必要である。
- ICT インフラの価値向上のためには、地域全体で網羅的にデータを集約し、サービスを提供することが重要であり、協議会参加団体の主体的な参加が必要である。

<今後の運営体制>

- 協議会の今後の体制・進め方については協議会設置要綱に反映する。反映後の要綱は令和5年度の第1回協議会で示す予定である。
- 今後は、事業年度にこだわらず実証や検討ができれば深度化できて良い。また、委託発注内容を協議会メンバーで検討すると主体的な参画にも繋がる。
- 来年度以降も、事前調整等について引き続き関係者で議論していく必要がある。